

細則様式第4号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏名	牧野 美里		
入学年度	平成26年度	学籍番号	14GG607
領域	健康支援科学	分野	障害保健学
審査委員	主査	尾田 敦	
	副査	武尾 照子	
	副査	吉田 英樹	
	副査	高見 彰淑	

論文題目： 脳卒中片麻痺患者における後ろ歩きの動作解析に関する研究

審査結果要旨：

本研究は脳卒中片麻痺患者に対して、後ろ歩きを用いることで、効果的なトレーニングメニューを再考し、臨床応用することを最終目的とするために、脳卒中片麻痺者の後ろ歩きの特徴を前歩きと比較して捉えるための一連の研究である。

本研究で得られた主な知見は、後ろ歩きは前歩きの単純な逆再生ではないこと、後ろ歩きの際に蹴り出しを意識することで股関節伸展角度ならびにモーメントが増加すること、脳卒中片麻痺患者の後ろ歩きでは、健常若年成人と比較して股関節伸展ピーク値が低下し、健常者の立脚初期に認められる、足関節底屈モーメントのピークがみられなくなることなどである。その上で、脳卒中片麻痺患者に対して後ろ歩きを練習メニューとして取り入れることの可能性も提示している。これらの所見は、当該専門分野における新知見であり、今後の臨床研究面での発展性も十分に期待される。

申請者は現時点での研究結果の意義と問題点を十分に理解おり、学位審査会で示した上で、質疑にも的確に対応した。審査論文においても、下肢関節のみならず骨盤・体幹を含めた分析および筋活動からのアプローチの必要性や、対象者の重症度による差異の可能性などに言及している。これらは本研究の更なる発展につながる要素と考えられる。

本研究の遂行にあたり、計画・実施・データ収集・解析等の過程において申請者は高い研究遂行能力を要するとともに高い倫理観を身につけていることが、学位審査論文及び学位審査会において伺われた。学位（博士）論文としても十分な内容と判断する。

最終試験 平成 29年2月8日

試験の結果は 合格 ・ 不合格 と判定する。